

# 林陽寺報 さくら

岐阜市岩田西 3-402 林陽寺 058-243-1380



ホームページ

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

## 「法灯明」(ほうとうみょう)

令和七年の新しい年が明けました。檀信徒の皆様には、ご家族お揃いで、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



年頭にあたり、今年は『法灯明』という言葉を届けます。

「法灯明」とは、お釈迦様の教えを導きとすることです。二十九歳で出家して王族としての地位を捨て、三十五歳に悟りを開いたお釈迦様は八十歳で亡くなるまで約四十五年間にわたって「説法」の旅を続けていました。

お釈迦様が亡くなる前に弟子のアーナンダは「これからは何を頼りにすれば良いのでしょうか」とお釈迦様に聞いたところ、「これまで多くの教えを説いてきて、お前はそれを聞いているのだからそれを頼りにしなさい」と諭しました。

つまり「教えを頼りに、前に歩みなさい」と言うことですが、我々は、お釈迦様の教えばかりでなく、身近な、自分の先祖や両親・先輩が教えてくれたことを思いだし、それも一つの糧として一歩ずつ前に進みたいものです。

合掌

## 令和七年行事(予定)

- 一月一日〜三日 新年の祈禱(早朝) ぎふ七福神お開帳
- 一月三十一日 大般若祈禱会
- 二月八日 涅槃会・婦人部会
- 三月二日 十三参り(募集中)
- 三月十七日〜二十三日 春彼岸
- 三月二十二日 桂蝶の治 落語会
- 三月二十三日 しだれ桜まつり
- 四月八日 花まつり(降誕会)
- 四月二十一日 弘法大師祥当接待
- 六月一日 奉仕作業
- 七月二十七日 子ども禅の集い
- 八月七日 山門施食会
- 八月十三日〜十五日 お盆
- 八月二十四日 地藏盆
- 九月二十日〜二十六日 秋彼岸
- 十月四日(第一土曜) 開山忌・先祖供養
- 十一月二十三日 七福神布袋尊大祭
- 十二月六日 成道会
- 十二月三十一日 除夜の鐘
- お経の会 第一日曜日 午後一時三十分より
- ヨガの会 第二土曜日 午前八時〜
- 坐禅の会 第二日曜日 午前八時〜
- 写経の会 第四土曜日 午前十時〜



欧州空手研修の坐禅体験 (7月)



カナダからのお客様 (10月)



企業研修 坐禅体験 (11月)

## メキシコ合衆国

### 三都市で坐禅会

副住職 岩水峰雪

今年の夏に十四年ぶりに学生時代を過ごしたメキシコへ行きました。お世話になったホームステイ先の家族や友人を訪問すると共に、今回は初めて坐禅会を海外で開催するという目的があり、三都市で四回の坐禅会を行ってきました。

旅の始まりはクエルナバカ、首都メキシコシティから南に一時間ほどのモレロス州の州都からでした。クエルナバカは「常春の町」といわれるほど気候が過ごしやすく自然の景観も美しい町なので、首都の大气汚染を避けてこの町に住居を構える人や別荘地として週末は賑わう町です。この町でお世話になったのは、岐阜に住むメキ



シコ人の女性の妹さんで、その方の娘さんが通うフィットネスクラブで坐禅会を開催しました。次に首都メキシコシティへ移動しました。今や人口二〇〇〇万人が住むメキシコシティは世界十二位の大都市です。メキシコは近年急成長し、ラテンアメリカ経済においても重要な国となりました。人種はスペイン統治時代からの混血が多く、とにかく

人が多いです。そこではホメオパシー院長の医院オフィス、そして別日にはビルの屋上という野外で開催しました。

そして最後は学生時代を過ごしたメキシコ湾岸最大の交易都市であるベラクルスへ。そこでは留学時代に



お世話になったホームステイ先のお父さんのロータリーグループ（世界中にある組織で高校生との交換留学を行うグループ）の会合で坐禅会を開かせていただきました。

四回の坐禅会に計五〇名以上の方が参加され、どの会でも禅や瞑想に大変興味を持たれている方が多いことを感じました。メキシコへ行く一年ほど前からスペイン語で坐禅指導の勉強を

始め、オンラインで一ヶ月に一度ほど坐禅会を行っていたので、なんとなくイメージトレーニングはできていましたが、生の声の質疑応答には四苦八苦することもあり、坐禅って何？ 禅って何？ 瞑想とどう違うの？と、改めて考え直す私にとっても大きな学びの機会となりました。質問の中でひとつ印象的だったのは、お祈りをする時には何を考えるのですか？という質問に、何も考えませんと私が応えると腑に落ちないような感じでポカンとされていました。煩惱から離れていくことを仏の教えとしますが、これはカトリックとの祈り方の違いがベースにあるからだと思います。

しかしながら、どの会においても会が終わる頃には平和な心がそれぞれに宿り、穏やかな雰囲気漂っていました。また、ラテンならではの人の良さ、温厚な人柄、明るさもまたよき会に繋がりました。国は違えど、宗教は違えど、目を閉じてみれば人類みな兄弟。



複雑で不安定な社会ですが、それぞれが平和の心を思い出すことは、草の根的な平和活動であると感じ、これからも活動を続けていきたいと思えます。

## 岐阜県宗務所本山研修

### 大本山總持寺

### 瑩山禪師様の大遠忌参拝

曹洞宗では、大本山永平寺ご開山 山道元禪師、大本山總持寺ご開山

瑩山（けいざん）禪師等の祖師様方の法要を大遠忌（だいおんき）と呼び、五十回忌以降は五十年毎に特別な法要が行われます。

今年（令和六年）、大本山總持寺ご開山瑩山禪師の七百回大遠忌の年となり多くの法要が行われました。

岐阜県宗務所の本山研修は、そんな法要が行われている總持寺さんに九月九日〜十日にお参りし、研修を行いました。林陽寺護持会からは会長の丹羽喜美夫さんと副会長の大島良法さん二名の方に出席をしていただきました。

県下各地からバス七台総勢二百名程の団参となり、コロナ禍以来久しぶりの大人数の研修になりました。

本山に到着後、開講式に引き続き所長さんの講話、諸堂拝観、法堂においての供養、講堂においての坐禅、瑩山禪師様のお話等の研修がありました。参加されたお二方より、感想をいただきました。



丹羽喜美夫さん

本山研修にて、大本山總持寺のご開山である瑩山禪師様の大遠忌にお参りさせていただきました。研修の一つである諸堂拝観にて説明を聞きながら長いときの流れを感じ、大変有り難く観させていただきました。ありがとうございました。



大島良法さん

今回、大本山總持寺への研修会に参加させていただきました。五年前に大本山永平寺で研修に参加させていただいたので、両

大本山での研修を経験することが出来ました。

バスの中で、總持寺ご開山瑩山禪師様のビデオを見て感動しました。その瑩山様の七百回忌の年に研修できた事、嬉しく思います。

能登地方は、今年の正月に大地震に見舞われ、總持寺祖院も門前町も大変な被害に遭い、さぞ禪師様も心を痛めておいでであろうと想像します。今後は曹洞宗の教えに沿って、余生を過ごしていこうと思えます。

### お目出度うございます

護持会顧問 津田芳朗さん

令和六年十二月二日県庁にて「県伝統文化継承者（詩吟）」として表彰の栄に浴されました。



益々のご活躍を祈念いたします。

## 第十四回ぎふ七福神

### 布袋尊大祭無事円成

十一月二十三日小春日和の暖かいひよりに恵まれた有難い大祭日でした。二時打ち出しにて、大般若祈祷会に続き、社会政策課題研究所の江崎禎英様の「共に未来を」と題してのお話がありました。終わって「お菓子まき」。お参りいただきました皆様ありがとうございました。お正月三日うごぎいきました。お正月三日う七日まで、例年通り、夢巡りお開



帳を行います。七福神の御利益にあずかってください。よろしくお願いいたします。

## ソバ作り

### お庫裏のツブヤキ

皆さんは、岩田西の畑に蕎麦の花が咲く時季があるのをご存じでしょうか。

この近くの人たちが環境美化と昆虫の食彩を考えて四年くらい前から栽培を始められました。畑の準備から始まり、種まきから刈り取り、脱穀、籾摺りと多くの行程があります。更に、実り具合いや実の水分度合いによって仕事を進めなければなりません。

実は、住職も私もその一員なのです。私は蕎麦と言え、うどんに色がついた物くらの認識しかありませんでしたが、本物の蕎麦の味を知って、こんなにも歯触りがあるものと驚くとともにその美味しさに魅了されています。



また、蕎麦粉を使って作る「そばがき」もなかなか美味しいのです。一番簡単に作るには、蕎麦粉をお椀に入れて熱湯を注ぎ、くるくるとかき混ぜれば美味しい「そばがき」の出来上がりです。わざわざ醤油でいただければ最高です。

この蕎麦作りを通して、口に入るまでに多くの手を経ていることに、改めて感じ入り、「一つには功の多少を計り彼の来処を計る」・食材の命の尊さとかけら

れた多くの手間と苦勞に思いを巡らせてみよう・の五観の偈（禅寺で食前にお唱えする言葉）の一文を思ったことです。



## 落語の会

令和7年3月22日(土)

14:00より(無料)



落語家 桂蝶の治

## 第18回

### しだれ桜まつり

令和7年3月23日(日)

11:00 ~ 16:00

